

	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none"><li>● 当社は海運業を中核とする企業であるため特にスコープ1の排出削減に取り組んでいるが、近年GHGプロトコルにより示されたスコープ3についても、その概念を理解し、当社サプライチェーン排出量の全体像を把握した上で、排出削減に向けた様々な取り組みを事業運営に取り込む必要性を感じた。</li><li>● サプライチェーン排出量に関する社外からの質問が増えているため、当算定事業を通じて、各カテゴリに該当する当社の事業活動および算定手法を明らかとする。</li></ul>
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● サプライチェーン全体の排出量を把握することにより、事業を営む上で更に配慮すべきカテゴリ、活動、削減ポテンシャルが明確となる。</li><li>● CDPをはじめとする社外からの質問書に対して、より信頼性・透明性の高い情報を提供する。</li></ul>
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>● サプライチェーン排出量の全体像やカテゴリ毎の排出量のインパクトを従業員へ伝え、気付きを与える。環境マネジメントシステム(EMS)によるレビューや目標設定等を通じて、従業員の一人ひとりが当排出量に配慮した当事者意識にて継続した削減活動の実施を期待。</li><li>● 開示データの信頼性・透明性の向上。</li><li>● 削減取り組みの成果を定量的な情報にて比較することが可能。</li></ul>
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none"><li>● 環境推進室が関連部署やグループ会社からデータを収集し、算定。</li><li>● 環境マネジメントシステム(EMS)の効果的な運用によるデータ収集。</li></ul>

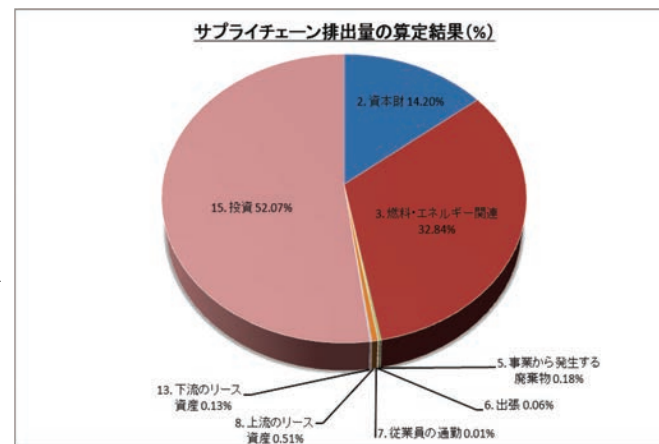
## 各社の考え方

### □ サプライチェーン排出量の削減に向けて

- 船の運航経費の中で最も大きい「カテゴリ3. 燃料・エネルギー関連」の削減に向けて全社を挙げて取り組んでいる。燃費の削減は、環境負荷の低減と経済性の二兎を追う重要な経営課題ゆえに更なる燃費の最小化とエネルギー効率向上を目指した様々な技術・アイデアを船の運航に取り入れている。

※ 算定結果は右図参照。  
一次データの収集が期日に間に合わなかった当社該当カテゴリを一部除外。

- 当社の購買方針に「資源保護、環境保全等社会的責任に配慮すること」を掲げている。また環境マネジメントシステム(EMS)の環境目標の一つに「エコ商品の購入比率向上」を掲げ、取引先にエコ商品供給の協力をお願いしている。



### □ サプライチェーン排出量算定の課題

- 集計バウンダリの拡大。
- 効率的に一次データを収集・算定するためのシステム構築。

### □ これからサプライチェーン排出量を算定する方へ

- 事業に該当するカテゴリを特定する。
- 該当するカテゴリ毎の算定手法、バウンダリを明確にする。
- 業種、事業形態により該当するカテゴリとそのインパクトは大きく異なる。スコープ1、スコープ2、スコープ3の一連の算定を通じて、事業活動に潜在する排出量の全体像を把握し、削減に向けた取り組みを構築していくことが必要。

## □ 当事業にて算定を行った計8つのカテゴリ

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ2 「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備投資額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備投資額当たりの原単位</li> </ul>
カテゴリ3 「燃料・エネルギー関連」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化石燃料使用量</li> <li>● 電力使用量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化石燃料使用量当たりの原単位</li> <li>● 電力使用量当たりの原単位</li> </ul>
カテゴリ5 「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物種類別容量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物種類別の原単位</li> </ul>
カテゴリ6 「出張」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輸送機関別交通費支給額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通費支給額当たりの原単位</li> </ul>
カテゴリ7 「従業員の通勤」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輸送機関別通勤費支給額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤費支給額当たりの原単位</li> </ul>
カテゴリ8 「リース資産(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 賃借している施設のエネルギー使用量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化石燃料使用量当たりの原単位</li> <li>● 電力使用量当たりの原単位</li> </ul>
カテゴリ13 「リース資産(下流)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 所有し、貸し出している施設のエネルギー使用量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化石燃料使用量当たりの原単位</li> <li>● 電力使用量当たりの原単位</li> </ul>
カテゴリ15 「投資」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資先のスコープ1, 2排出量の内、株式保有比率に応じた排出</li> </ul>	